

双方向動画配信システムを用いた日常と危機管理に対応する 地域密着型情報提示に関する研究

理工学部 特任教授 川名 典人

公立千歳科学技術大学は、「知の拠点として大学が有する人材と知恵を社会に提供し、地域との共生を通して、社会とともに発展する大学を目指します」を大学の理念の一つとして掲げております。その具体的な手法として”ちとせタウントーク”は2019年から定期的で開催されております。毎回タウントークでの”熱い議論”を通して、課題解決へ向けた提案等を大学の強みである情報工学やサービス工学、IoT技術、そして生態系を考慮した観点から行なっております。これまでタウントークでは、「ドローンがもたらす新世界」、「5G時代がやってくる」、「AR、VR、そしてドローンの異空間インパクト」のような最先端のテーマから、「ウイズ・ポストコロナの観光課題と新たなツーリズム」、「高齢化、過疎化が進む地域におけるIoTを利用した課題解決」などの地域に密着した課題も取り上げております。2021年度も毎月開催しておりますので、是非タウントークへの参加をご検討下さい。

仕組み：地域に密着した情報配信手法として下記の環境を設定

1. レンタルサーバー上に Moodle という Learning Management System (LMS) のオープンソフトウェアをインストールし、課題別に情報共有できる仕組みを構築した。
2. 動画配信ソフト Big Blue Button (BBB) の利用
Moodle に BBB リンクボタンを設定し、動画配信を可能にした。
*BBB の特徴 録画ボタンを押すと録画開始。終了ボタンを押すことで、クラウド上に自動保存が可能。収録された動画は Moodle サイト上に自動的に表示され、いつでも視聴できる。未収録動画は管理画面から調整が可能。録画中のテキストデータは動画と一緒に自動保存となる。
3. “chitose.town” というドメインを取得し、サイトアクセス環境を整備。



取り組みと成果

「ちとせタウントーク」というサイトを構築し、地域に関わるテーマで、定期的にオンライン講演を開催した。新型コロナの影響のため7月から開始し、2021年3月までに7回のタウントークを実施した。毎回30人前後の方が視聴（ライブ&オンデマンド）した。会場はWi-Fi が安定している大学キャンパスの教室を利用した。この双方向動画配信システムの運用法が確立したことで、多様な地域のニーズに応えられるコンテンツ配信が可能となった。



図：オンライン配信の様子

●● もっと詳しく知る! ●●

QRコードを読み込むとより詳細な情報にアクセスできます



ちとせタウントーク
Webサイト



これまでの
タウントーク
(地域連携センターWebサイト)

